



図書館の扉

11月号



～芥川賞・直木賞特集～

今月は芥川賞・直木賞を特集。

秋と言えば読書の季節です。普段読書をしない人も直木賞作品から読み始めてみたり、芥川賞作品をゆっくり時間をかけて読んでみたりするのもいいかもしれませんね！

謎作フェア開催中！

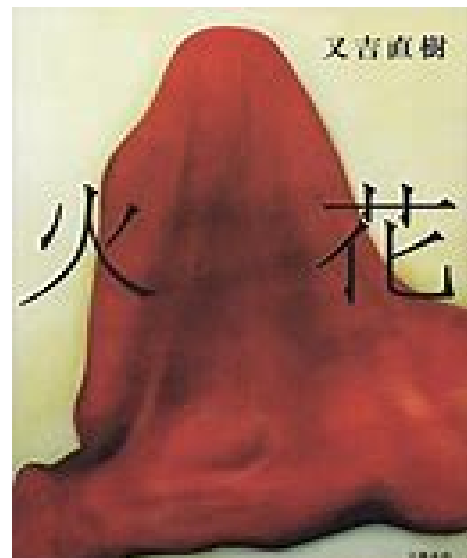
文字の織り成す人知を超えた世界は素晴らしい！再読必須の名作 g…（文字数制限）

『火花』 又吉直樹

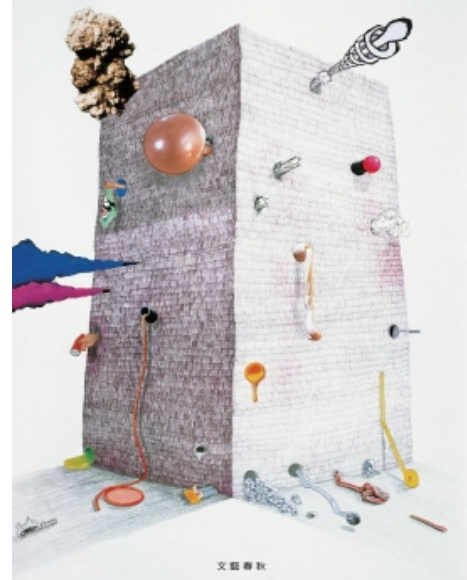
数年前、芥川賞を受賞した又吉直樹の著書。徳永はある祭りの時に出会った同じく芸人の神谷に心酔し、弟子入りを志願する。結局彼らは何者であったのか、何を得ていたのか。主体的につくりこまれた作品になっている。

『コンビニ人間』 村田沙耶香

主人公は、人とはかけ離れた思考を持つ恵子。いくなれば、サイコパス。そんな彼女の転職先はコンビニだった。36歳まで恋愛経験、趣味なしのただコンビニで働くだけの「コンビニ人間」となったのだ。そんな彼女を異端に思い普通に戻そうとする人々。そうやって少数派の人間は多数派の人間によって消されていった。



コンビニ人間 村田沙耶香



『軍旗はためく下に』 結城昌浩

太平洋戦争下にて敵前逃亡により処刑されたとされる夫の
本当の最後を知るために、残された妻が部隊生存者を訪
ねて回る話。夫の死因は戦死？餓死？銃殺？栄光の軍
旗に隠されていたのは？

“皇軍”のたどった敗残の末路とは？



『容疑者Xの献身』 東野圭吾

『ガリレオ』シリーズで著者を知った人は多いのではないだろ
うか？『容疑者Xの献身』は、その『ガリレオ』シリーズで中
心人物である湯川教授の長年のライバルである物学者石
神に関わる事件によって明らかになる湯川の大学時代や
過去…。

第134回直木賞受賞のイッキ読み間違いなしのミステリー
小説。



遅くなりましたが、新任先生のおすすめ本紹介！

重力ピエロ 伊坂幸太郎

数年前、友人に伊坂幸太郎さんの作品を幾つか勧め
られて読んだもののうちの一つです。仙台で起こっ
た連続放火事件。過去に辛い記憶を抱える泉水と春
の兄弟が事件に興味を持ち謎解決に乗り出すので
すが…。物語はもちろん、巧みを表現に圧倒されま
すよ！

小佐川 心子先生

